

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）

(実施期間：令和2～令和7年度)

代表機関：山口大学（総括責任者：谷澤 幸生）

共同実施機関：山口東京理科大学、宇部工業高等専門学校、UBE株式会社、株式会社トクヤマ徳山製造所

取組の概要

山口大学では2014年度からの「女性研究者研究活動支援事業」で男女共同参画意識の醸成やライフイベント支援制度等の基本的な制度を確立し、学長のガバナンスが發揮できる組織体制を整えた。本事業では、課題として残る女性研究者比率や研究力の向上を目指すとともに、山口の地域課題である女性活躍の弱さを克服するために、県内の高等教育機関、企業、地方自治体とコンソーシアムを組み、地域全体の女性研究者の活躍促進と成果の可視化を目指す。そのために自主財源でDAIラボ（Diversity×AIラボ）を新設し、研究とAIの融合による女性研究者の研究活性化や効率化、共同研究の促進と研究成果のベンチャー化を進める。山口大学としては、1. DAIラボの活用等による研究力向上、2. 全学的な採用管理等による女性研究者増加、3. 上位職育成ポジションの導入等による女性上位職登用という3つの柱と13の具体的取組をおこなう。

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	今後の進め方
A	b	a	a	a	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

(2) 評価コメント

山口県内の大学、工業高等専門学校、企業が連携し、様々な分野で活用の進むAI技術に着目して「AI研究デザインプロジェクト」を構築し、女性研究者・技術者がAI技術を活用し研究の効率化や活性化を図れるよう「DAIラボ」を設置した。女性研究者・技術者とAI研究者・技術者との8件の先進的な共同研究を支援しており、今後の展開が期待でき評価できる。また、連携する5機関に加え山口県内の自治体を含む11機関が協力機関として参画する「やまぐちダイバーシティ推進加速コンソーシアム」を設立し、性別役割分担意識が残る地域においてダイバーシティ推進を組織的に進めていることは評価できる。連携する5機関の間で目標達成の程度に大きな差が生じており、取組の成果が挙げられず目標達成が危ぶまれる機関がある。今後は、更なる連携の強化により取組好事例の普及を図り、連携機関はもとより協力機関を含めコンソーシアム全体として女性研究者・技術者の活躍促進を図ることを期待する。

- ・**目標達成度**：連携する5機関の内、4機関は概ね目標を達成しており評価できる。しかしながら、1機関においては、教員の女性限定公募が実施されたにもかかわらず、女性研究者割合、新規採用研究者の女性割合が目標値を大きく下回っており、連携する機関の取組好事例を導入し改善を図ることを期待する。
- ・**取組**：代表機関に「DAIラボ」を創設し、女性研究者・技術者とAI研究者・技術者との共同研

究を促進する「AI 研究デザインプロジェクト」の運用を進めたことは、時宜にかなった取組であり評価できる。代表機関は教員公募において 31 件の「女性限定公募」を実施し、女性教員の積極的な採用を行うとともに、共同実施機関へ当該取組を普及させており評価できる。共同実施機関の 2 企業が実施する「退職者復職登録制度」は、女性研究者・技術者の復帰・復職支援の取組として優れており成果が期待できる。

- **取組の成果：**女性研究者・技術者と AI 研究者・技術者との 8 件の共同研究を支援し、女性研究者・技術者の研究の効率化や活性化を推進したことは評価できる。また、共同実施機関において、女性研究者・技術者の採用、管理職への登用が進んだことは評価できる。
- **実施体制：**代表機関の学長のリーダーシップの下、5 機関が良好な連携関係を築き協働して取組を進めた。さらに、5 機関連携を山口県内の 16 機関が参画する「やまぐちダイバーシティ推進加速コンソーシアム」へと発展させ、山口地域への波及効果を高めたことは評価できる。
- **今後の進め方：**補助期間終了後も、代表機関を中心とした連携体制を維持し、「やまぐちダイバーシティ推進加速コンソーシアム」の協力機関を拡充する計画であり、山口地域の女性研究者・技術者の一層の活躍促進が期待できる。今後は、代表機関、共同実施機関共に、目標が達成できなかった要因分析を適切に行い、実効性の高いポジティブ・アクションを立ち上げ改善を図ることを期待する。